

よみがえれ！  
有明訴訟弁護団  
(後藤富和)発行  
092-512-1636  
090-9602-0700

# 諫早湾干拓、漁業者ら農水前で抗議



有明海漁民による農水省前座り込み

【TBSニュース11月26日】長崎県の諫早湾干拓事業をめぐって、潮受け堤防の排水門を早期に開くよう求める地元漁業者らが、東京・霞が関の農林水産省前で抗議集会を行いました。

農水省の前に集まった有明海沿岸の漁業者らは、堤防の締め切りによって魚や貝が獲れなくなるとして、排水門を早期に開くよう直接訴えるため、赤松農水大臣との面会を求めました。

開門をめぐっては、早期実施を求める地元の漁業者や佐賀県と、農業や防災への影響を懸念して反対する農業従事者や長崎県が2つに分かれて対立しています。赤松大臣

は、まず地元で話し合うべきだとし、漁業者からの面会要請に応じていません。

「いま民主党政権下で行われていることは、自公政権で開門アセスを言っていた時より、さらに後退し、諫早湾の開門については地元で協議すると、さじを投げています」(参加者) 集まった漁業者らは、民主党は、政策集に「有明海の再生に向けた取り組みを推進する」と明記しているのに、取り組みはむしろ後退していると主張し、赤松大臣に開門に向けたリーダーシップを発揮するよう強く求めていくとしています。

## 裁判で係争中・赤松 農相 漁民面談応じず

【朝日11月27日】国営諫早湾干拓事業をめぐり、福岡高裁と長崎地裁で潮受け堤防排水門の開門を国に求めている訴訟の原告漁民らと弁護団が26日、農林水産大臣ら政務三役との面会を拒否されたとして、同省玄関前で抗議の座り込みを行った。

開門協議に応じようとするしない同省について、参加者からは「このままでは民主党政権に失望だ」との声も出た。

弁護団は裁判所内での開門について

の協議開催を提案しており、26日に政務三役との面会を求めている。農水省側の説明によると、政務三役は「裁判の期日が控えている」との理由で面会を見合わせることを決めたという。

座り込みの後、原告漁民らは農地資源課の職員らと面会。馬奈木昭雄弁護団長は「(同省の説明通りの理由で会わないなら)大臣は昔の殿様と一緒に、民主党に期待して投票したのに、自民政権よりも悪い」と職員らに詰め寄った。弁護団は12月2日に再度の面会を要求した。

## 有明漁民必死の訴え

### 農水省交渉で

11月26日の農水省との交渉で漁業者らは漁民のおかれた窮状を訴え、大臣や関係機関を交えた協議を要求した。

【漁民(長崎)】有明海異変の要因を作った農水省が話し合いの場を設定すべきだ。漁業者は瀬戸際まで来ておりアセスが始まる前に死んでしまう。開門した上でのアセスで良いではないか。有明海の再生のために一緒に考えよう。

【漁民(佐賀)】調整池からの汚水で大浦(佐賀)の漁民は被害を受けている。ぜひ開門して漁業者が首を吊らんでいいようにして欲しい。息子に跡を継げと言えない。

【漁民(福岡)】大牟田沖(福岡)

では稚魚も成長せずに死んでアサリも全然ダメ、漁獲はゼロに近い。今のままじゃ死の海だ。ここ2、3年、漁業じゃ食えないので陸でアルバイトをしている。生活がでない。ぜひ開門して欲しい。



開門を訴える漁民

## 民主党政権に最後通牒

### 有明海漁民

諫早干拓水門の開門を求めている長崎・佐賀・福岡の漁業者らは、11月26日、赤松農水大臣以下政務三役が「裁判で係争中だから面談はできない」と回答したことに対し、自公政権時代には若林農相(当時)が直接漁民と面談し「開門の腹を決めた」(鳩山邦夫法相(当時)談)のにも、赤松農相らは一方当事者である開門反対派にだけと面談し、開門を求める漁民との面談を拒否しており、当事者の声を聴くという民主党のスローガンに騙されたという怒りを隠せない。漁業者らは民主党への最後通牒として大臣らに再度面会を求め12月2日に上京する。